

行政コスト 計算書



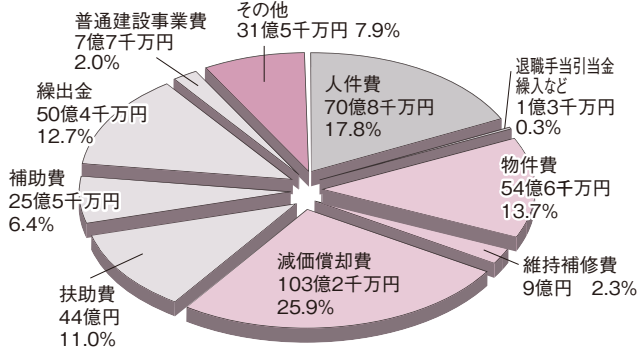
行政サービス経費を目的ごとに集計

市役所の仕事には、道路や建物のように将来も形に残るものをつくるだけでなく、福祉のさまざまな給付や団体への補助金など、形に残らない行政サービスも大きな比重を占めています。しかし、その経費の内訳はバランスシートにあらわれません。これら市民サービスに使った費用(コスト)を目的や政策別に分類したものです。民間企業の損益計算書に該当します。

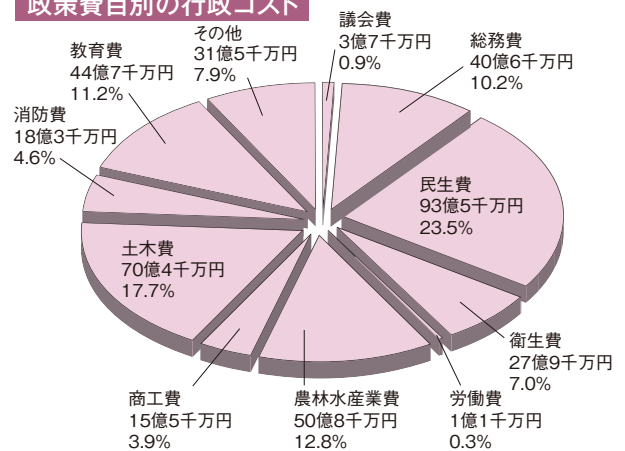
コスト費目別行政コスト

合計 398億円

- 人にかかるコスト (職員の人件費や退職金など)
- 物にかかるコスト (施設の維持管理や減価償却、消耗品など)
- 移転支出的なコスト (生活扶助、補助金、公営企業会計への繰出金など)
- その他



政策費目別の行政コスト



● 市民 1 人あたりのコスト費目別の行政コスト

人口 94,572 人 (H20.3.31 現在)

	H19年度(円)	H18年度(円)
人件費	74,826	78,707
退職手当引当金繰入	1,341	13,118
物件費	57,754	58,909
維持補修費	9,514	7,141
減価償却費	109,081	109,734
扶助費	46,570	42,446
補助費	26,999	32,320
繰出金	53,282	54,426
普通建設事業費※	8,263	5,607
その他	33,264	28,291
全体	420,895	430,701

※普通建設事業費は他団体等への補助金等の支出のみ

● 市民 1 人あたりの政策費目別の行政コスト

人口 94,572 人 (H20.3.31 現在)

	H19年度(円)	H18年度(円)
議会費	3,922	4,392
総務費	42,955	43,372
民生費	98,893	96,044
衛生費	29,483	31,339
労働費	1,197	1,214
農林水産業費	53,694	63,226
商工費	16,395	17,233
土木費	74,453	73,722
消防費	19,324	21,745
教育費	47,315	50,123
その他	33,264	28,291
全体	420,895	430,701

(数値は四捨五入で作成)



こんにちは赤ちゃん事業(生後4ヶ月までの乳児家庭への全戸訪問)

また、政策費目別では民生費の行政コストが最も高く、高齢者や障がい者などに対する福祉サービス、子育て支援などに多くの費用を充てていることが分かります。

行政コスト計算書では、市が行政サービスに要した人件費や実際には支出しない減価償却費、退職手当引当金繰入も行政コストとして計上しています。コスト費目別では、施設の維持管理など「物にかかるコスト」が一番大きく、生活扶助、補助金などの「移転支出的なコスト」と続きますが、全体では職員数の減少などにより、前年度と比べて約11億2千万円の減少となりました。

**人件費減少し
約11億円のコスト減**
行政コスト計算書を読む